

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
北陸新幹線建設局入札監視委員会（第3回定例会議）議事概要

開催日及び場所		令和4年7月14日（木） 北陸新幹線建設局会議室	
出席委員		小松一雄（弁護士）、岸田潔（大学院教授）、黒坂則子（大学教授）	
審議対象期間		令和3年10月1日～令和4年3月31日	
工事	抽出案件	件数	1件
	一般競争入札方式 (政府調達協定適用対象以外)	北陸新幹線、あわら市内高架下整備他	
役務	抽出案件	件数	1件
	簡易公募型競争入札方式	北陸新幹線、397k3・405k2 間環境調査3	
物品等	抽出案件	件数	1件
	一般競争入札方式	乗用自動車の賃貸借	
高落札率契約	抽出案件	件数	1件
	一般競争入札方式 (政府調達協定適用対象以外)	北陸新幹線、391k7・392k1 間法面工他	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等		意見・質問	回答
		別紙のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容		な し	

別紙（工事）

	意見・質問	回答
1	<p>一般競争入札方式（政府調達協定適用対象以外） 「北陸新幹線、あわら市内高架下整備他」</p> <p>① 総合評価項目のうち、ワーク・ライフ・バランス関連認定制度の取得状況について、もう少し点数配分のウェイトを大きくできないのか。</p> <p>② 1者無効となり、3者が辞退しているが、それぞれの理由は。</p>	<p>① 本項目の配点については、内部規程に基づき機構の全機関とも統一的な運用としており、現状の配点は1点が上限である。</p> <p>② 無効の1者は、低入札価格で入札してきたが、施工体制確認の追加資料提出を辞退したため。辞退の3者は、入札書不着、他工事落札による辞退、及び入札前辞退のためである。入札前辞退の理由は把握していない。</p>

別紙（役務）

	意見・質問	回答
1	<p>簡易公募型競争入札方式 「北陸新幹線、397k3・405k2 間環境調査3」</p> <p>① 今回の案件は一般的な環境調査であり、特殊性がないにもかかわらず、入札価格にばらつきがあるのは、何が要因と考えるか。</p> <p>② 役務の案件は低入札が多い。機構の予定価格と応札金額に乖離があることについてどのように考えているか。</p> <p>③ 低入札で応札した者について、その後に瑕疵等が発生したことはあるか。</p>	<p>① 各者の内訳書から積算金額を取り違えたということは考えにくく、鉄道的环境部門の実績が欲しいといった各者の意向が強く働いた結果と考えている。</p> <p>② 設計図書等で積算内容を示しており、また各者の内訳書等をみる限り、予定価格の積算に問題があるとは認識していない。また、低入札については、ヒアリングでその都度実施体制等を確認しているため問題ないと考えている。</p> <p>③ 他案件については把握していないが、この業務については現時点では順調に履行しているため問題ないと考えている。</p>

別紙（物品等）

	意見・質問	回答
1	<p>一般競争入札方式 「乗用自動車の賃貸借」</p> <p>① 北陸局だけで発注するよりも、機構全体で発注ロットを大きくすればスケールメリットがあるのではないかと。</p> <p>② 1者辞退があるがその理由は把握しているか。</p> <p>③ 履行期間が5年となっている理由は何か。また、この車を5年間使い続けるのか。</p> <p>④ 任意保険等はどうかになっているのか。</p>	<p>① 機構では一括調達を行っている物品もあるため、当該自動車についても本社関係箇所と検討する余地はあると考えている。ただ、一括調達する場合、調達時期の問題や、使用場所に応じたメンテナンスサービス等について課題が残ると考えている。</p> <p>② 入札前の辞退であるため把握していない。</p> <p>③ 機構の部内規則で定められた上限期間が5年間となっているためである。この車は5年間使うことになる。</p> <p>④ 運行管理を委託している業者が任意保険に加入している。</p>

別紙（高落札率契約）

	意見・質問	回答
1	<p>一般競争入札方式（政府調達協定適用対象以外） 「北陸新幹線、391k7・392k1 間法面工他」</p> <p>① 法面工事は法面の安定をするための工事なのか、緑化等の工事なのか。</p> <p>② この入札については参加者が2者しかなく、競争力があまり働いていないようにも見えるが、この要因は。</p>	<p>① トンネルの坑口付近の法面の周りを法枠工で囲う斜面防災で、斜面が崩れてこないよう表面処理を行う工事である。</p> <p>② この工事は簡単な工事内容であるため、資格区分を土木Bだけでなく土木Cにも設定している。地元業者は機構の新幹線の工事を受注した経験がないことが多く、そういったことも参加意欲が低くなった要因ではないかと推測している。</p>

	<p>③ 予定価格と調査基準価格はどのように算出しているのか。</p> <p>④ 無効になった者は、低入札に係る追加資料を開札後すぐ出す必要があるのか。</p> <p>⑤ 入札回数の制限はあるか。</p>	<p>③ 公表されている積算要領、歩掛等を使って積算している。</p> <p>④ 追加資料の提出期日は数日の猶予があるものの、入札額の根拠資料等の提出が必要となり、細かい施工計画が詰められないこともあるため、即座に提出を辞退する者がほとんどである。</p> <p>⑤ 原則として2回を限度としているが、場合によっては3回実施することがある。</p>
--	--	--

別紙（その他）

	意見・質問	回答
1	<p>工事、役務、物品等の全体審議 なし</p>	
2	<p>高落札率契約の全体審議 なし</p>	
3	<p>一定規模以上の取引関係を有する法人との契約の全体審議 なし</p>	
4	<p>その他 なし</p>	